

令和 2 年 1 月 7 日
大阪管区気象台

近畿日本海側の 2019 年 12 月は記録的な少雪となりました

近畿日本海側の 2019 年 12 月は、寒気の影響を受けにくく、暖かい空気に覆われやすかった影響で記録的な少雪となり、1961 年の統計開始以来、地域平均の降雪量において第 1 位の少雪となりました。

1 近畿地方における 2019 年 12 月の天候の特徴

冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や前線の影響を受けやすい気象状況となりました。また、上空を流れる偏西風は、日本付近で北へ蛇行した影響で寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われやすくなりました。

このため、近畿地方の 12 月の平均気温は平年に比べかなり高く、近畿日本海側の降雪量はかなり少なくなり、第 1 位の少雪となりました。

2 近畿日本海側の 12 月の降雪量（平年比[※]）

順位 (少ない方から)	平年比 (%)	西暦
1 位	0	2019 年
1 位	0	2016 年
1 位	0	1998 年
1 位	0	1979 年
1 位	0	1964 年
6 位	3	2015 年

〔参考〕近畿日本海側の代表的な
地点の 12 月の降雪量

観測点	実況値 (センチ)	平年値 (センチ)	平年比 (%)
彦根	— ^{※※}	14	0
舞鶴	— ^{※※}	30	0
豊岡	— ^{※※}	44	0

※平年差（比）：近畿日本海側のデータは、3 地点（彦根、舞鶴、豊岡）を平均した値です。なお、2019 年の値は速報値です。そのため、後日変更となる場合があります。

※※降雪がなかった、または降雪があっても 0 センチであったことを表します。

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 季節予報担当 水野・藤原
電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160